


豊川市	所属議員	堀内 重佳
------------	------	-------

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
具体的取り組み項目	豊川市環境基本計画 2020（2020～2029）【前期目標：現状値 2019→目標値 2024】 ①とよかわ環境パートナーシッププロジェクト（民間企業等登録件数） 0件 → 10件 ②省エネ行動勉強会（電器店等との連携） 0件/年 → 1件/年 ③エコチャレンジカレンダー事業（小学校5年生）（実践者数） 1,775人 → 1,800人/毎月 ④公共駐車場維持管理事業（定期契約台数） 5,247台 → 5,400台/日 ⑤太陽光発電システム設置基数（市内設置基数） 7,716基 → 10,200基 ⑥エコカー、エコドライブの推進（公用車の低排出ガス認定車等の割合） 79% → 90%	
前回まで 活動状況	・①～⑥の項目についての推進状況の確認と、その結果から考察できる原因に対し、改善案を模索し提案した。	
今回 具体的活動	① 環境パートナーシッププロジェクト外の登録状況を確認したところ、市内の産業廃棄物処理業である加山興業㈱殿から登録の依頼があり、令和4年1月21日に5件目の登録となったことを確認した。本企業は既に独自に児童向けの講座や工場見学を開催しており、市との具体的な連携事業は見いだせていないとのことであったため、早急に連携すべき事業を構築するようお願いした結果、次年度以降に新たに展開するパートナー間の交流や連携を促し、相乗効果の発揮を促したいとの回答を得た。 ② 令和4年度からの事業開始に向け、商工会議所と調整とのことだったが、昨年11月にパートナーシップ登録した電器店等である㈱Rise Line 殿と連携した勉強会を開催するよう提案した。 ③ 実践者数は1,702人/毎月で、うち作品やアイデアの提出件数は937件/毎月と前年度よりも減少してしまった理由を確認したところ、コロナ渦で学校行事を優先したことにより作品等の提出ができなかったことが判明した。 ④ 目標数値の定期契約台数は、年間の延台数であるため、年度末まで集計できません。 ⑤ 昨年9月提出の会派とよかわ未来「令和4年度予算編成に対する要望書」の中でCO2削減のため、関連予算をお願いしたところ、住宅用リチウムイオン蓄電池システムの補助件数が昨年度の60件から75件となり、当初の市長マニフェストの計画件数を上回る予算額を確保することができた。 ⑥ 計画的な低排出ガス認定車等への買い替えに対し、現行車両の耐用年数が課題となっているが、運転する職員の意識が高くなければ効果が半減するため、より実践的な「エコドライブ」講習会を実施するよう要求した。	【図や活動の様子が分かる写真など】 ③エコチャレンジカレンダー事業で提出された作品 
今後の活動	・令和4年度中のゼロカーボンシティ宣言に向け、現行の組織体制の見直しや条例の改正、さらには、国、県の動向を踏まえた施策等を立案するよう促す。	